

令和元年度 福岡県公民館実践交流会のまとめ

福岡県公民館連合会 事務局

1 大会参加者数及びアンケート回収状況

(1) 大会参加者数 856名 (発表者・専門部・県・県公連役員・事務局等含む)

(2) アンケート回答者数 431名 (回収率 54.3%) ※昨年度50.8%△3.5%

(3) 市町村参加状況

	福岡市	北九州市	福岡地区	北九州地区	北筑後地区	南筑後地区	筑豊地区	京築地区	合計
本年度	71	64	173	79	139	116	97	54	793
昨年度	69	76	189	80	134	116	118	51	833
増減	△2	▼12	▼16	▼1	△5	=	▼21	△3	▼40

(4) 参加者割合

	公立	自治	市民センター	コミセン	公運審	社教委員	関係団体	行政関係	その他
本年度	19%	34%	4%	14%	5%	4%	0%	17%	3%
昨年度	21%	31%	4%	15%	4%	4%	1%	18%	2%
増減	▼2	△3	=	▼1	△1	=	▼1	▼1	△1

2 アンケートのまとめ

(1) 所属・役職

	公立	自治	市民センター	コミセン	公運審	社教委員	関係団体	行政関係	その他
本年度	20%	39%	5%	14%	3%	3%	1%	13%	1%
昨年度	22%	37%	4%	12%	4%	4%	1%	15%	1%
増減	▼2	△2	△1	△2	▼1	▼1	=	▼2	▼1

(2) 参加回数

	初めて	2回目	3回目	4回目
本年度	36%	23%	14%	27%
昨年度	35%	18%	17%	30%
増減	△1	△5	▼3	▼3

(3) 実践発表の数

	多い	ちょうどよい	少ない
本年度	6%	93%	1%
昨年度	11%	88%	1%
増減	▼5	△5	=

(4) 分科会について (時間配分)

	長い	ちょうどよい	短い
本年度	2%	90%	8%
昨年度	2%	92%	6%
増減	=	▼2	△2

(5) 分科会について (質疑応答時間)

	長い	ちょうどよい	短い
本年度	11%	87%	2%
昨年度	11%	86%	3%
増減	=	△1	▼1

(6) 交流会がどれだけ参考になったか

	大変参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
本年度	36%	63%	1%	0%
昨年度	32%	64%	4%	0%
増減	△4	▼1	▼3	=

(7) メモ欄の工夫（良さや課題を記載する枠を設定）※本年度より実施

	大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
本年度	12%	68%	17%	3%
昨年度				

(8) 実践発表の内容について

【実態の分析と目標の共有について】

- ・1・2・3世代別のデータをとったことがよい。「エネルギーを投下しないと動かない。投下する量が多ければその分エネルギーが大きくなる」この哲学がすばらしい。
- ・将来像（10年後）の達成目標の基本理念を具現化していることは大変すばらしいと感じた。

【学校やボランティアとの連携・協働について】

- ・ボランティアの方との関係性の難しさを感じました。押し付けてもいけない、強要してもいけない、共に行っていくことの大切さを知ることができた。
- ・地域コミュニティと大学サークル（パルキッズ久留米大学）が対等に協力し協働で活動していること、お互いが補完の関係にあることが大事だと思った。
- ・中学生をファシリテーターとして参加させているのが新鮮でした。次への期待が持てる内容だと思います。

【後継者の育成について】

- ・公民館活動、地区の活動を個人の情熱で推進している姿はすばらしいと感心しました。後継者の育成は非常に苦勞するのではないかと思います。
- ・組織や行事を維持存続していくには何といても「人」そのもの。物的に豊かになったが、自分さえよければという風潮の中農業後継者も同様、いかに後継者を確保していくかが大きな課題。公民館や自治協議会の役員のなり手がいない中5~10年先を見据えた議論が必要ではないか？

【コーディネーターの役割や役割分担の明確化について】

- ・高齢化地域と忙しい子育て世代、PTA（学校）をつなぐコーディネーターはこれからとても重要になると思います。
- ・春日市の発表は、資料がわかりやすかった。特にCSの前促説明。（ぜひ資料が欲しい）役割分担が明確になっている。参加人数がすごい。

【多世代での取組】

- ・地域の行事は長年にわたり伝承されるものであり、旧住民のみならず新しい住民も地域を知るうえで最も大切なものであります。子どもから高齢者までが一同に参加してともに運営していくことが人間のきずな、地域を愛する人間を育成するものであり、このことこそ公民館活動の原点ではないでしょうか。

(9) 質疑等の時間について

- ・今年度からコミュニティ担当職員になり、公民館活動に関連する研修事業のいくつかに自治公民館長を連れて参加したが、毎回「自分たちには関係の薄い内容」「理想ではあるがうちの区では無理」という感想が多く聞かれていた。今回は質疑・意見交流の時間が長くとってあり、うちの市の館長も積極的に発言していたので、有意義な研修になっていたのではないかと思います。
- ・発表が4つから3つに減ってスケジュールにゆとりがありよかったです。昨年より質疑の時間も余裕をもって聞くことができました。